最終更新日: 令和 3年 7月 6日

# 後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針評価書

政 策 : 01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基本施策 : 03 環境に配慮するまちづくり

主管課長職・氏名 環境課長 武田 晋

関係課長職・氏名

### 1. 基本施策の令和 2年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

岩手山をはじめとする恵まれた自然環境のなかで、環境基本条例に基づいてエネルギー利用の節約による二酸化炭素等の温室効果ガスの排出削減、再生可能エネルギーの活用、ごみの減量・資源化、地域清掃による環境美化その他の環境保全などの取組みを市民、事業者及び市が協働し、協力しあって環境に配慮したまちづくりを推進します。

(2) 基本施策目標値の達成状況

_	۷,	/ 基本旭界日保旭の建成仏派							
No	ما	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上:戦略目標見込値/下:達成値				目標値	進捗状況
	NO	この基本地東に関わる基本地東日保旧院	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
Г		暮 豊かな自然がたくさん残っていると思	う人の割合						
1	1	ら , 単 位 %	77.9	77. 9	79. 6	81. 3	83	83	С
				79. 9	79. 3		-	_	27. 5
ľ		幸地域清掃活動への参加者数							
	2	単 位 人	10 596	19, 895	21, 263	22, 632	24, 000	24, 000	D
		福  <del>                                    </del>	18, 526	20, 113	10, 992	ı	-	-	△137. 6
Γ									
		<u>単 位</u>							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No		施		第	策		名	基準値	上:戦略目標見込値/下:達成値				目標値	進捗状況
INO		施	策	目	標	指	標	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
	本	01030100 住民協働による環境保全												
,	暮ら	1日当たりのごみ排出量(住民1人当たり)												
1	し	<b>単位</b> g	~				856	842	828	814	800	800	D	
		<u># W</u>	<u> </u>	g 				890	860	865	_	_	_	△16. 1
		単位	<del>,</del>											
		<u>+ 14</u>												
		単位	,											
			<u> </u>	<del>-</del>										
											_			
		単位												
			<u>+                                    </u>											
											_	<b>-</b>		
		単位												
		P	_											

2頁

## 後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針評価書

策 : 01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基本施策 : 03 環境に配慮するまちづくり

主管課長職・氏名 環境課長 武田 晋

関係課長職・氏名

### 2. 基本施策の実現に向けての令和 2年度までの取り組み状況を分析する

- (1) 基本施策目標の達成(実現)に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成(実現)状況
- D 達成できなかった
  - ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等のため、活動が縮減傾向になり、参加者等の目標を達成できませんでした。
  - ・環境ボランティアの方々の活動や地域での活動を支援し、環境保全、地球温暖化防止、ごみの減量等の循環型社会の構築 につながる環境に配慮したまちづくりに取り組みました。
  - ・地域の清掃活動の支援や衛生指導員と協働して環境美化活動に取り組みました。

## (2)基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題の達成(実現)状況

C 一部達成した

#### 【重点課題】

環境問題に対する意識を高め、地球環境への負荷低減につながる活動を通じて循環型社会の構築に取り組みます。

【重点課題に対応した達成状況】

環境企画展を滝祭と同日に開催し環境問題等に関心を持ってもらい、取組みの必要性を周知・啓発することで、環境問題や 地球環境への負荷低減に関心意識を持ってもらうことができました。

#### 3. 基本施策の実現に向けての令和 2年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B 社会環境変化あり

国は2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロの目標を掲げ、これまでとは異なる取組が求められると考えています。また、新 型コロナウイルス感染症の発生により、外出等の活動が減少し、一般家庭から排出されるごみが増加傾向にあります。

#### (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A 必要なし

政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。

#### 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

### (1) 令和 4年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B 課題あり

#### 【今後の方向性】

地球温暖化防止対策を推進し、豊かな自然を次世代に引き継ぐため、継続して様々な環境保全に向けた取組みを進め、環境 に配慮したまちづくりに取り組みます。

#### 【引継課題】

地球温暖化防止対策(二酸化炭素排出削減、ごみ減量等)や環境保全のための様々な取組みの推進に関すること。

## 最終更新日:令和 3年 7月 6日

# 後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針評価書

政 策: 01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基本施策 : 03 環境に配慮するまちづくり

 主管課長職・氏名
 環境課長
 武田
 晋

 関係課長職・氏名

(2)所管施策別事業実績表

(2	)所管施策別事業実績表	ı		
No	施策名	計画額	実績額	比較(%)
1	01030100 住民協働による環境保全	1, 107, 317	1, 058, 453	△4. 4
1	01039000 【1-3 基本施策目標値入力用】	0		0.0